

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第12期(決算日2016年4月11日)

作成対象期間(2015年4月11日～2016年4月11日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2019年4月10日(当初、2014年4月10日)までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期(2012年4月10日)	14,141	450	2.5	119.71	△ 1.5	96.5	—	2,699
9期(2013年4月10日)	15,641	500	14.1	140.23	17.1	101.1	—	1,892
10期(2014年4月10日)	17,639	600	16.6	165.99	18.4	96.9	—	1,819
11期(2015年4月10日)	18,419	600	7.8	193.37	16.5	97.6	—	1,597
12期(2016年4月11日)	17,578	600	△ 1.3	179.15	△ 7.4	94.4	—	1,470

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。
 *MSCI ワールド インデックス フリーは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2015年4月10日	18,419	—	193.37	—	97.6	—
4月末	18,447	0.2	192.72	△ 0.3	95.4	—
5月末	18,616	1.1	195.52	1.1	100.3	—
6月末	17,864	△ 3.0	188.54	△ 2.5	95.2	—
7月末	17,841	△ 3.1	193.02	△ 0.2	97.6	—
8月末	17,034	△ 7.5	181.26	△ 6.3	96.2	—
9月末	16,450	△ 10.7	170.66	△ 11.7	96.8	—
10月末	17,999	△ 2.3	188.25	△ 2.7	97.2	—
11月末	18,527	0.6	189.19	△ 2.2	98.7	—
12月末	18,142	△ 1.5	186.98	△ 3.3	95.8	—
2016年1月末	17,174	△ 6.8	170.98	△ 11.6	99.2	—
2月末	17,324	△ 5.9	172.77	△ 10.7	98.0	—
3月末	18,412	△ 0.0	181.62	△ 6.1	97.4	—
(期末)						
2016年4月11日	18,178	△ 1.3	179.15	△ 7.4	94.4	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期(2012年4月10日)	12,532	250	△ 2.5	117.23	△ 6.0	96.3	—	10,003
9期(2013年4月10日)	16,427	520	35.2	163.92	39.8	97.9	—	10,511
10期(2014年4月10日)	19,159	750	21.2	202.14	23.3	97.5	—	10,793
11期(2015年4月10日)	21,971	800	18.9	258.35	27.8	97.4	—	10,114
12期(2016年4月11日)	18,981	750	△10.2	219.03	△15.2	98.2	—	7,314

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。

*MSCI ワールド インデックス フリーは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所：MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2015年4月10日	21,971	—	258.35	—	97.4	—
4月末	22,038	0.3	258.34	△ 0.0	95.4	—
5月末	22,949	4.5	270.17	4.6	97.6	—
6月末	21,970	△ 0.0	259.71	0.5	95.8	—
7月末	22,068	0.4	266.77	3.3	98.0	—
8月末	20,670	△ 5.9	245.65	△ 4.9	98.1	—
9月末	19,724	△10.2	228.70	△11.5	97.8	—
10月末	21,708	△ 1.2	253.72	△ 1.8	97.3	—
11月末	22,443	2.1	256.57	△ 0.7	98.3	—
12月末	21,709	△ 1.2	250.63	△ 3.0	97.5	—
2016年1月末	20,432	△ 7.0	228.71	△11.5	97.7	—
2月末	19,440	△11.5	218.26	△15.5	97.9	—
3月末	20,759	△ 5.5	230.72	△10.7	97.5	—
(期末)						
2016年4月11日	19,731	△10.2	219.03	△15.2	98.2	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

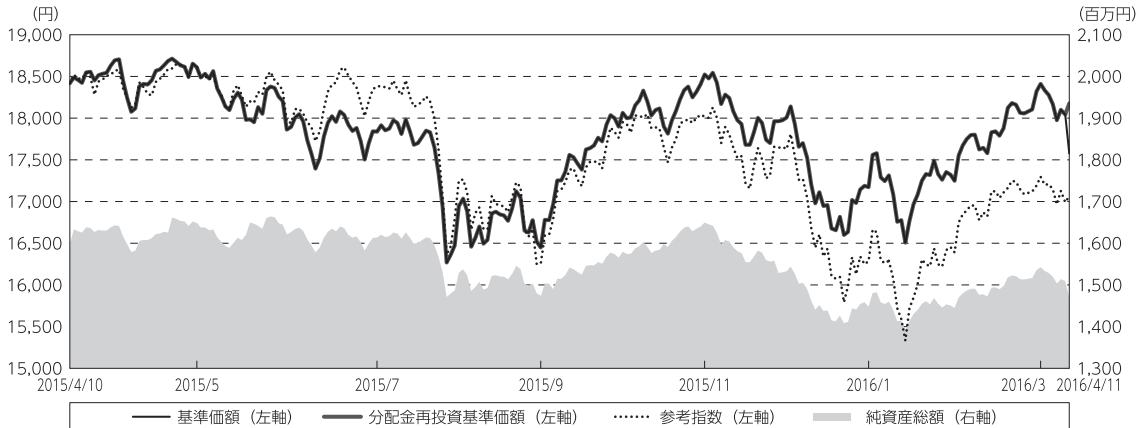
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：18,419円

期 末：17,578円 (既払分配金(税込み)：600円)

騰落率：△1.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2015年4月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）です。作成期首（2015年4月10日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首18,419円から期末17,578円となりました。

- ・ 2015年5月は、4月の米国非農業部門雇用者数が市場予想並みの増加幅となり、労働市場の回復を示したことから景気に対する不安感が後退したことや、ECB（欧州中央銀行）の金融緩和姿勢が維持されるとの見方を受け欧州債券利回りの上昇が一服したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 6月は、ギリシャ金融支援協議の決裂からリスク回避の売りが広がったことなどから、主要各国の株価が下落したこと。

<Aコース>

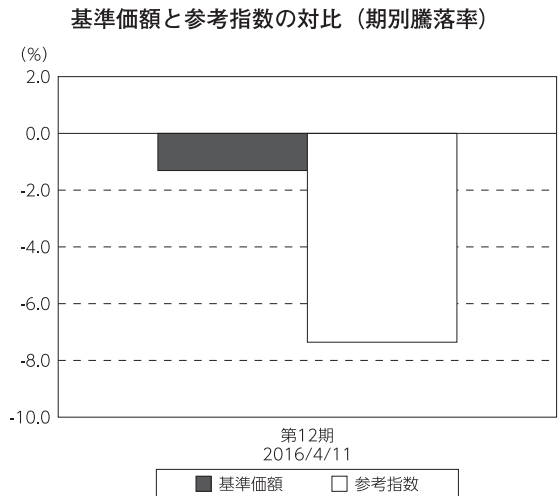
- ・ 8月から9月にかけて、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見送られたことから、米金融政策に対する先行き不透明感が高まったこと。また、中国経済への不安や、独自自動車大手の不正問題などから市場心理が悪化したことなどから、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 10月は、米利上げの開始時期が遅れるとの観測や、ドラギECB総裁が追加金融緩和を示唆したこと、中国の追加利下げの発表などから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 2016年1月は、中国経済に端を発した世界経済の先行き懸念の高まりや、原油価格の下落、一部欧州銀行の不良債権問題への懸念などから、主要各国の株価が下落したこと。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）の7.4%の下落に対し、基準価額は1.3%の下落となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えた投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）とは異なった動きをしております。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり600円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第12期
	2015年4月11日～ 2016年4月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	600 3.301%
当期の収益	23
当期の収益以外	576
翌期繰越分配対象額	7,578

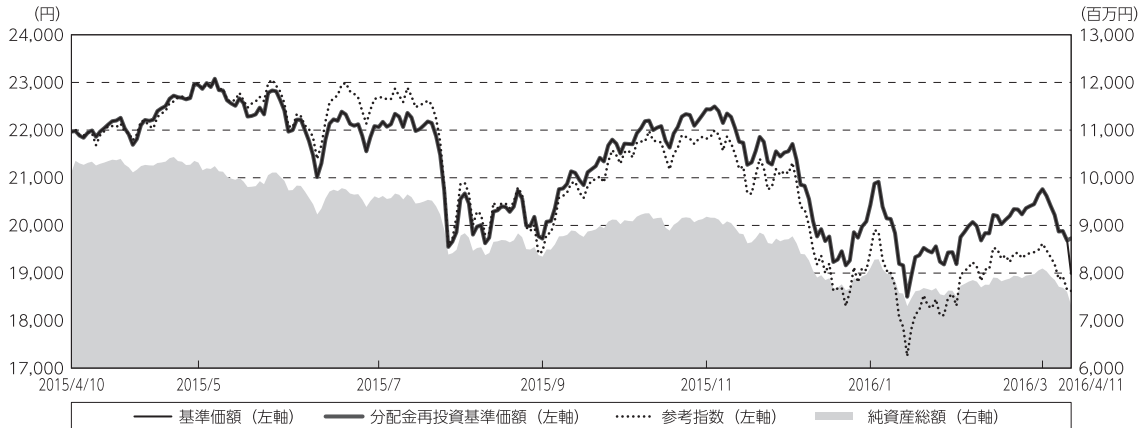
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：21,971円

期末：18,981円 (既払分配金(税込み)：750円)

騰落率：△10.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2015年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。作成期首(2015年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首21,971円から期末18,981円となりました。

- ・ 2015年5月は、4月の米国非農業部門雇用者数が市場予想並みの増加幅となり、労働市場の回復を示したことから景気に対する不安感が後退したことや、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和姿勢が維持されるとの見方を受け欧州債券利回りの上昇が一服したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 6月は、ギリシャ金融支援協議の決裂からリスク回避の売りが広がったことなどから、主要各国の株価が下落したこと。

<Bコース>

- ・ 8月から9月にかけて、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見送られたことから、米金融政策に対する先行き不透明感が高まったこと。また、中国経済への不安や、独自動車大手の不正問題などから市場心理が悪化したことなどから、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 10月は、米利上げの開始時期が遅れるとの観測や、ドラギECB総裁が追加金融緩和を示唆したこと、中国の追加利下げの発表などから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 2016年1月は、中国経済に端を発した世界経済の先行き懸念の高まりや、原油価格の下落、一部欧州銀行の不良債権問題への懸念などから、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 為替については、2016年1月の米国雇用統計が市場予想を下回る結果となったことや、世界の金融市場でリスク回避的な姿勢が強まったことなどから、円に対して主要通貨が売られたこと。

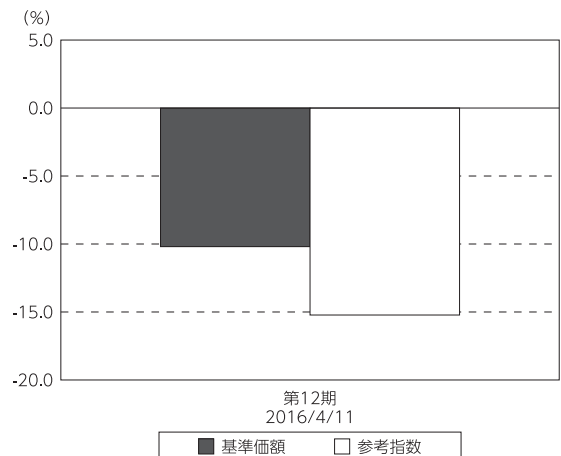
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の15.2%の下落に対し、基準価額は10.2%の下落となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えた投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり750円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第12期
	2015年4月11日～ 2016年4月11日
当期分配金	750
(対基準価額比率)	3.801%
当期の収益	19
当期の収益以外	730
翌期繰越分配対象額	8,981

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策や中国の景気動向、商品価格の変動などに左右される展開となり、期を通じて下落となりました。

為替市場では、期を通じては、主要通貨に対して概ね円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース] および [ワールド・ウォーター・ファンド Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資してまいりました。
 - ②業績が景気の影響をより受けやすい「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーション面で割安感があり、財務体質のしっかりした企業に投資を行いました。
 - ③世界的に景気回復期待が高まったものの、引き続きよりディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い規制下の事業比率が高い「上下水道ビジネス」の組入比率を高位に保ちました。
 - ④「環境マネジメント・サービス」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却する一方、中期的な業績動向が堅調な銘柄の購入を行いました。
 - ⑤米国での収益が拡大しているスイスの配管設備大手商社や欧州で建材や配管機器を扱うイギリスの工業製品販売会社などの株式を組み入れました。また、固形廃棄物の処理事業が中心である米国の廃棄物管理会社などの株式を買い増しました。一方、原油価格下落の影響が懸念される米国の廃棄物管理会社などの株式を全売却しました。

<Aコース/Bコース>

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

米国では、労働市場の健全化が続いている他、製造業や消費者のセンチメントにも改善の兆しが見られます。また、インフレが落ち着いていることから、米国の利上げペースは緩やかなものになると予想されます。加えて、欧州と日本が量的金融緩和政策を継続していることも株価の下支え材料となります。当局の景気下支え策を背景に、中国経済には安定化の兆しが見られます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年4月11日～2016年4月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	328	1.841	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(174)	(0.975)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(135)	(0.758)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(19)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.062	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(11)	(0.062)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.020	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(4)	(0.020)	
(d) そ の 他 費 用	14	0.079	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(13)	(0.072)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.004)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	357	2.002	
期中の平均基準価額は、17,819円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2015年4月11日～2016年4月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 100,427	千円 350,200	千口 111,698	千円 397,200

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2015年4月11日～2016年4月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	7,403,375千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,278,311千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.72	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月11日～2016年4月11日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Aコース>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替先物取引	百万円 295	% 3.7	百万円 7,989	百万円 314	% 3.9	百万円 7,964

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 51	% 7.6	百万円 669	百万円 422	% 15.9	百万円 2,662

平均保有割合 14.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Aコース>

○組入資産の明細

(2016年4月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	433,341	422,071	1,404,105

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年4月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	1,404,105	91.5
コール・ローン等、その他	130,445	8.5
投資信託財産総額	1,534,550	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（8,501,975千円）の投資信託財産総額（9,140,110千円）に対する比率は93.0%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.11円、1カナダドル=83.13円、1英ポンド=152.60円、1スイスフラン=113.38円、1ユーロ=123.22円、1香港ドル=13.94円、1ウォン=0.0939円、1メキシコペソ=6.08円、1レアル=30.11円、1チリペソ=0.1583円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,813,182,714
コール・ローン等	15,502,513
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	1,404,105,002
未収入金	1,393,575,199
(B) 負債	1,342,671,968
未払金	1,278,638,470
未払収益分配金	50,192,389
未払解約金	359
未払信託報酬	13,816,425
その他未払費用	24,325
(C) 純資産総額(A-B)	1,470,510,746
元本	836,539,821
次期繰越損益金	633,970,925
(D) 受益権総口数	836,539,821口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,578円

(注) 期首元本額は867,439,908円、期中追加設定元本額は102,753,696円、期中一部解約元本額は133,653,783円、1口当たり純資産額は1,7578円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額73,748,587円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2015年4月11日～2016年4月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,151
受取利息	5,151
(B) 有価証券売買損益	9,385,343
売買益	240,271,615
売買損	△230,886,272
(C) 信託報酬等	△ 28,738,729
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 19,348,235
(E) 前期繰越損益金	290,123,278
(F) 追加信託差損益金	413,388,271
(配当等相当額)	(320,491,724)
(売買損益相当額)	(92,896,547)
(G) 計(D+E+F)	684,163,314
(H) 収益分配金	△ 50,192,389
次期繰越損益金(G+H)	633,970,925
追加信託差損益金	413,388,271
(配当等相当額)	(321,012,998)
(売買損益相当額)	(92,375,273)
分配準備積立金	241,890,785
繰越損益金	△ 21,308,131

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年4月11日～2016年4月11日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年4月11日～ 2016年4月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,959,896円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	392,080,140円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	290,123,278円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	684,163,314円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,178円
g. 分配金	50,192,389円
h. 分配金(1万口当たり)	600円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	600円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年4月11日～2016年4月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	393	1.841	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(208)	(0.975)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(162)	(0.758)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(23)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	13	0.062	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(13)	(0.062)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.020	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(4)	(0.020)	
(d) そ の 他 費 用	17	0.078	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(15)	(0.072)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	427	2.001	
期中の平均基準価額は、21,325円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2015年4月11日～2016年4月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 143,738	千円 528,600	千口 699,557	千円 2,496,600

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2015年4月11日～2016年4月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	7,403,375千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,278,311千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.72	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月11日～2016年4月11日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	669	51	7.6	2,662	422	15.9

平均保有割合 85.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2016年4月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	2,738,708	2,182,889	7,261,818

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年4月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	7,261,818	93.9
コール・ローン等、その他	474,808	6.1
投資信託財産総額	7,736,626	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（8,501,975千円）の投資信託財産総額（9,140,110千円）に対する比率は93.0%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.11円、1カナダドル=83.13円、1英ポンド=152.60円、1スイスフラン=113.38円、1ユーロ=123.22円、1香港ドル=13.94円、1ウォン=0.0939円、1メキシコペソ=6.08円、1リアル=30.11円、1チリペソ=0.1583円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,736,626,928
コール・ローン等	74,608,263
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	7,261,818,665
未収入金	400,200,000
(B) 負債	422,072,460
未払収益分配金	289,015,613
未払解約金	57,065,786
未払信託報酬	75,857,254
その他未払費用	133,807
(C) 純資産総額(A-B)	7,314,554,468
元本	3,853,541,510
次期繰越損益金	3,461,012,958
(D) 受益権総口数	3,853,541,510口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,981円

(注) 期首元本額は4,603,474,622円、期中追加設定元本額は253,303,888円、期中一部解約元本額は1,003,237,000円、1口当たり純資産額は1,8981円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額73,748,587円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2015年4月11日～2016年4月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	29,866
受取利息	29,866
(B) 有価証券売買損益	△ 706,138,640
売買益	78,842,786
売買損	△ 784,981,426
(C) 信託報酬等	△ 165,681,274
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 871,790,048
(E) 前期繰越損益金	1,488,111,130
(F) 追加信託差損益金	3,133,707,489
(配当等相当額)	(1,593,663,131)
(売買損益相当額)	(1,540,044,358)
(G) 計(D+E+F)	3,750,028,571
(H) 収益分配金	△ 289,015,613
次期繰越損益金(G+H)	3,461,012,958
追加信託差損益金	3,133,707,489
(配当等相当額)	(1,595,057,041)
(売買損益相当額)	(1,538,650,448)
分配準備積立金	1,206,759,802
繰越損益金	△ 879,454,333

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2015年4月11日～2016年4月11日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年4月11日～ 2016年4月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	7,664,285円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,254,253,156円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,488,111,130円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	3,750,028,571円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	9,731円
g. 分配金	289,015,613円
h. 分配金(1万口当たり)	750円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	750円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日2016年4月11日）

作成対象期間（2015年4月11日～2016年4月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	117.23	△6.0			
8期(2012年4月10日)	17,686	△0.9	117.23	△6.0	97.3	—	12,582
9期(2013年4月10日)	24,348	37.7	163.92	39.8	98.6	—	12,378
10期(2014年4月10日)	30,078	23.5	202.14	23.3	98.5	—	12,480
11期(2015年4月10日)	36,405	21.0	258.35	27.8	98.8	—	11,547
12期(2016年4月11日)	33,267	△8.6	219.03	△15.2	98.9	—	8,665

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI ワールド インデックス フリーは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

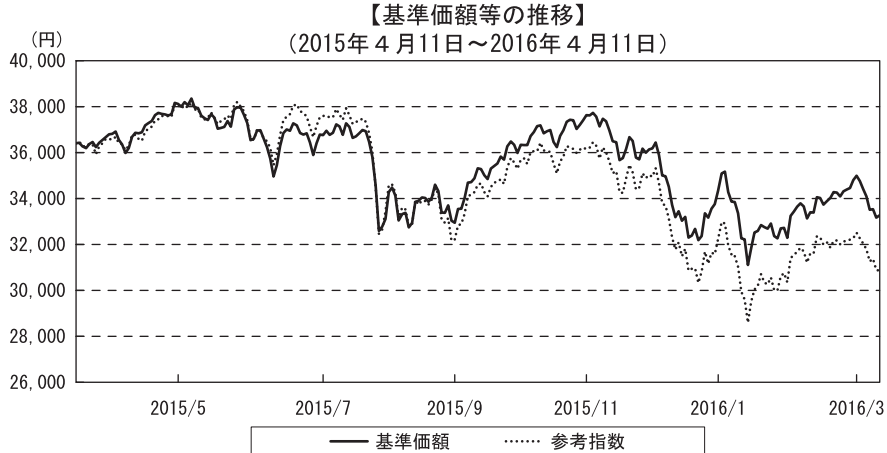
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	258.35	—		
(期首) 2015年4月10日	36,405	—	258.35	—	98.8	—
4月末	36,553	0.4	258.34	△0.0	96.2	—
5月末	38,121	4.7	270.17	4.6	98.1	—
6月末	36,541	0.4	259.71	0.5	96.3	—
7月末	36,761	1.0	266.77	3.3	98.0	—
8月末	34,479	△5.3	245.65	△4.9	98.2	—
9月末	32,947	△9.5	228.70	△11.5	97.7	—
10月末	36,326	△0.2	253.72	△1.8	98.0	—
11月末	37,626	3.4	256.57	△0.7	99.0	—
12月末	36,442	0.1	250.63	△3.0	98.1	—
2016年1月末	34,339	△5.7	228.71	△11.5	98.1	—
2月末	32,717	△10.1	218.26	△15.5	98.0	—
3月末	34,995	△3.9	230.72	△10.7	97.5	—
(期末) 2016年4月11日	33,267	△8.6	219.03	△15.2	98.9	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首36,405円から期末33,267円となりました。

- ・ 2015年5月は、4月の米国非農業部門雇用者数が市場予想並みの増加幅となり、労働市場の回復を示したことから景気に対する不安感が後退したことや、ECB（欧州中央銀行）の金融緩和姿勢が維持されるとの見方を受け欧州債券利回りの上昇が一服したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 6月は、ギリシャ金融支援協議の決裂からリスク回避の売りが広がったことなどから、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 8月から9月にかけて、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見送られたことから、米金融政策に対する先行き不透明感が高まったこと。また、中国経済への不安や、独自自動車大手の不正問題などから市場心理が悪化したことなどから、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 10月は、米利上げの開始時期が遅れるとの観測や、ドラギECB総裁が追加金融緩和を示唆したこと、中国の追加利下げの発表などから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 2016年1月は、中国経済に端を発した世界経済の先行き懸念の高まりや、原油価格の下落、一部欧州銀行の不良債権問題への懸念などから、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 為替については、2016年1月の米国雇用統計が市場予想を下回る結果となったことや、世界の金融市場でリスク回避的な姿勢が強まったことなどから、円に対して主要通貨が売られたこと。

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策や中国の景気動向、商品価格の変動などに左右される展開となり、期を通じて下落となりました。

為替市場では、期を通じては、主要通貨に対して概ね円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針を元に当期間は以下のような運用を行いました。

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

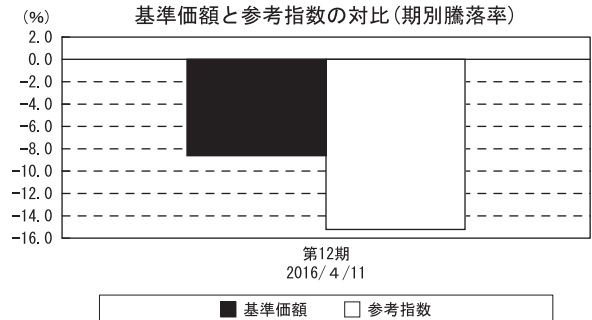
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資してまいりました。
 - ②業績が景気の影響をより受けやすい「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーション面で割安感があり、財務体質のしっかりした企業に投資を行いました。
 - ③世界的に景気回復期待が高まったものの、引き続きよりディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い規制下の事業比率が高い「上下水道ビジネス」の組入比率を高位に保ちました。
 - ④「環境マネジメント・サービス」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却する一方、中期的な業績動向が堅調な銘柄の購入を行いました。
 - ⑤米国での収益が拡大しているスイスの配管設備大手商社や欧州で建材や配管機器を扱うイギリスの工業製品販売会社などの株式を組み入れました。また、固形廃棄物の処理事業が中心である米国の廃棄物管理会社などの株式を買い増ししました。一方、原油価格下落の影響が懸念される米国の廃棄物管理会社などの株式を全売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の15.2%の下落に対し、基準価額は8.6%の下落となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えた投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしています。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

米国では、労働市場の健全化が続いている他、製造業や消費者のセンチメントにも改善の兆しが見られます。また、インフレが落ち着いていることから、米国の利上げペースは緩やかなものになると予想されます。加えて、欧州と日本が量的金融緩和政策を継続していることも株価の下支え材料となります。当局の景気下支え策を背景に、中国経済には安定化の兆しが見られます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年4月11日～2016年4月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 22 (22)	% 0.062 (0.062)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	7 (7)	0.020 (0.020)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	27 (26) (1)	0.075 (0.072) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	56	0.157	
期中の平均基準価額は、35,653円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年4月11日～2016年4月11日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 48	千円 123,527	千株 67	千円 168,467
	アメリカ	百株 3,802 (55)	千米ドル 15,640 (-)	百株 7,421	千米ドル 27,215
外 国	カナダ	305	千カナダドル 416	112	千カナダドル 367
	イギリス	1,938 (1,452)	千英ポンド 2,411 (-)	2,055	千英ポンド 1,870
	スイス	9	千スイスフラン 281	49	千スイスフラン 772
	スウェーデン	-	千スウェーデンクローナ -	154	千スウェーデンクローナ 2,674
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	-	-	0.12	4
	イタリア	1,178	277	517	132
	フランス	291	527	821	1,567
	オランダ	201 (6)	457 (16)	117	326
	オーストリア	7	36	68	334
	香港	10,080	千香港ドル 8,378	22,359 (-)	千香港ドル 14,743 (321)
	シンガポール	-	千シンガポールドル -	3,454	千シンガポールドル 216
	韓国	11	千ウォン 98,623	88	千ウォン 773,046
	メキシコ	-	千メキシコペソ -	430	千メキシコペソ 1,384
	ブラジル	24	千リアル 44	1,749	千リアル 1,068
チリ	-	千チリペソ -	1,763	千チリペソ 63,386	

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2015年4月11日～2016年4月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	7,403,375千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,278,311千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.72

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月11日～2016年4月11日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 669	百万円 51	% 7.6	百万円 2,662	百万円 422	% 15.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年4月11日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数		株 数	評 価 額	
化学 (23.4%)		千株		千株	千円
積水化学工業		87		93	124,899
金属製品 (22.7%)					
LIXILグループ		36.1		55.4	121,326
リンナイ		9.5		—	—
機械 (35.0%)					
クボタ		88		91	123,123
荏原製作所		172		132	63,624
電気機器 (18.9%)					
堀場製作所		23.8		26.3	100,729
合 計	株 数	金額	株 数	金額	金額
	銘 柄 数 < 比 率 >		銘 柄 数 < 比 率 >		< 6.2% >

* 各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

* 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

* 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

* 評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AECOM	316	—	—	—	建設・土木
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN	—	94	217	23,545	建設関連製品
AGILENT TECHNOLOGIES INC	121	220	873	94,397	ライフサイエンス・ツール/サービス
AMERICAN STATES WATER CO	122	150	583	63,103	水道
AMERICAN WATER WORKS CO INC	700	421	2,964	320,512	水道
AQUA AMERICA INC	1,201	787	2,491	269,345	水道
CALGON CARBON CO	295	202	271	29,367	化学
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	593	543	1,477	159,715	水道
CLARCOR INC	185	56	315	34,079	機械
CLEAN HARBORS INC	274	—	—	—	商業サービス・用品
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	2,320	1,077	702	75,968	水道
COVANTA HOLDING CORP	417	455	743	80,431	商業サービス・用品
DANAHER CORP	349	367	3,427	370,499	コングロマリット
DONALDSON CO INC	551	—	—	—	機械
ECOLAB INC	176	127	1,427	154,341	化学
FLOWSERVE CORP	84	—	—	—	機械
FRANKLIN ELECTRIC CO INC	244	135	418	45,257	電気設備
HD SUPPLY HOLDINGS INC	—	291	978	105,792	商社・流通業
IDEX CORP	181	185	1,509	163,225	機械
MASCO CORP	269	396	1,256	135,854	建設関連製品
MUELLER WATER PRODUCTS INC-A	1,110	1,151	1,109	119,976	機械
PALL CORP	133	—	—	—	機械
PARKER HANNIFIN CORP	75	—	—	—	機械
PERKINELMER INC	192	421	2,105	227,582	ライフサイエンス・ツール/サービス
PROGRESSIVE WASTES SOLUTIONS LTD	433	280	856	92,649	商業サービス・用品
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	244	274	1,272	137,532	商業サービス・用品
REXNORD CORP	312	227	452	48,911	機械
ROPER TECHNOLOGIES INC	100	105	1,870	202,270	コングロマリット
SMITH (A.O.) CORP	326	299	2,312	249,985	建設関連製品
TETRA TECH INC	387	—	—	—	商業サービス・用品
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	172	127	1,812	195,930	ライフサイエンス・ツール/サービス
TRIMBLE NAVIGATION LTD	197	—	—	—	電子装置・機器・部品
VALMONT INDUSTRIES	36	—	—	—	建設・土木
WASTE CONNECTIONS INC	304	218	1,394	150,804	商業サービス・用品
WASTE MANAGEMENT INC	89	107	619	66,979	商業サービス・用品
WATERS CORP	—	81	1,065	115,203	ライフサイエンス・ツール/サービス
WATTS WATER TECHNOLOGIES -A	—	92	505	54,615	機械
XYLEM INC	842	751	3,098	334,975	機械
PENTAIR PLC	211	361	1,860	201,092	機械
小 計	株 数	金 額	39,995	4,323,946	
	銘柄 数 < 比 率 >		—	< 49.9% >	
(カナダ)			千カナダドル		
PURE TECHNOLOGIES LTD	641	836	384	31,971	電子装置・機器・部品
STANTEC INC	421	419	1,383	115,018	専門サービス
小 計	株 数	金 額	1,768	146,990	
	銘柄 数 < 比 率 >		—	< 1.7% >	
(イギリス)			千英ポンド		
ROTORK PLC	161	—	—	—	機械
TRAVIS PERKINS PLC	—	357	653	99,683	商社・流通業

銘柄	株数	株数	当 期 末		業 種 等
			評 価	額	
	株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
PENNON GROUP PLC	2,700	2,307	1,893	288,954	水道
SEVERN TRENT PLC	934	764	1,710	261,074	水道
UNITED UTILITIES GROUP PLC	2,073	1,866	1,787	272,770	水道
WOLSELEY PLC	—	179	709	108,203	商社・流通業
POLYPIPE GROUP PLC-WI	1,097	976	304	46,540	建設関連製品
ROTORK PLC	—	1,850	305	46,625	機械
小 計	株 数 ・ 金 額	6,967	8,303	7,364	1,123,853
	銘柄 数 < 比 率 >	5	7	—	<13.0%>
(スイス)			千スイスフラン		
SULZER AG-REG	39	—	—	—	機械
GEBERIT AG-REG	64	63	2,240	254,066	建設関連製品
小 計	株 数 ・ 金 額	103	63	2,240	254,066
	銘柄 数 < 比 率 >	2	1	—	<2.9%>
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ		
ALFA LAVAL AB	154	—	—	—	機械
小 計	株 数 ・ 金 額	154	—	—	—
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<—%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
KSB AG-VORZUG	6	6	196	24,220	機械
小 計	株 数 ・ 金 額	6	6	196	24,220
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.3%>
(ユーロ…イタリア)					
HERA SPA	3,049	3,709	937	115,473	総合公益事業
小 計	株 数 ・ 金 額	3,049	3,709	937	115,473
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.3%>
(ユーロ…フランス)					
VEOLIA ENVIRONNEMENT	1,916	1,688	3,540	436,209	総合公益事業
SUEZ ENVIRONNEMENT SA	2,092	1,789	2,929	360,922	総合公益事業
小 計	株 数 ・ 金 額	4,009	3,478	6,469	797,131
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<9.2%>
(ユーロ…オランダ)					
ARCADIS NV	275	320	526	64,816	建設・土木
AALBERTS INDUSTRIES NV	355	400	1,194	147,236	機械
小 計	株 数 ・ 金 額	631	721	1,720	212,052
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<2.4%>
(ユーロ…オーストリア)					
ANDRITZ AG	288	228	1,073	132,258	機械
小 計	株 数 ・ 金 額	288	228	1,073	132,258
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.5%>
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	7,985	8,144	10,397	1,281,137
	銘柄 数 < 比 率 >	7	7	—	<14.8%>
(香港)			千香港ドル		
CHINA EVERBRIGHT INTL LTD	9,820	12,240	10,330	144,008	商業サービス・用品
GUANGDONG INVESTMENT	19,588	15,548	15,159	211,322	水道
BEIJING ENTERPRISES WATER GR	36,668	29,808	14,844	206,931	水道
SOUND GLOBAL LTD	10,153	6,353	1,988	27,723	水道
小 計	株 数 ・ 金 額	76,229	63,950	42,323	589,985
	銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	<6.8%>

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	金額	
(シンガポール) HYFLUX LTD	百株 3,454	百株 —	千シンガポールドル —	千円 —	水道
小計	株数・金額 3,454	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	<—%>	
(韓国) COWAY CO LTD	242	166	千ウォン 1,557,410	146,240	家庭用耐久財
小計	株数・金額 242	166	1,557,410	146,240	
	銘柄数<比率>	1	—	<1.7%>	
(メキシコ) GRUPO ROTOPLAS SA DE CV	2,618	2,188	千メキシコペソ 7,229	43,953	機械
小計	株数・金額 2,618	2,188	7,229	43,953	
	銘柄数<比率>	1	—	<0.5%>	
(ブラジル) CIA SANEAMENTO MINAS GERAIS CIA ENERGETICA DE MINAS GER-PREF	700 1,735	710 —	千リアル 1,256 —	37,839 —	水道 電力
小計	株数・金額 2,435	710	1,256	37,839	
	銘柄数<比率>	2	—	<0.4%>	
(チリ) AGUAS ANDINAS SA-A	16,260	14,497	千チリペソ 550,686	87,173	水道
小計	株数・金額 16,260	14,497	550,686	87,173	
	銘柄数<比率>	1	—	<1.0%>	
合計	株数・金額 131,092	109,292	—	8,035,185	
	銘柄数<比率>	62	55	<92.7%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2016年4月11日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 8,568,886	% 93.8
コール・ローン等、その他	571,224	6.2
投資信託財産総額	9,140,110	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産 (8,501,975千円) の投資信託財産総額 (9,140,110千円) に対する比率は93.0%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.11円、1カナダドル=83.13円、1英ポンド=152.60円、1スイスフラン=113.38円、1ユーロ=123.22円、1香港ドル=13.94円、1ウォン=0.0939円、1メキシコペソ=6.08円、1リアル=30.11円、1チリペソ=0.1583円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,538,238,886
コール・ローン等	520,798,317
株式(評価額)	8,568,886,978
未収入金	430,718,490
未収配当金	17,835,101
(B) 負債	872,389,332
未払金	413,389,332
未払解約金	459,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	8,665,849,554
元本	2,604,960,973
次期繰越損益金	6,060,888,581
(D) 受益権総口数	2,604,960,973口
1万口当たり基準価額(C/D)	33,267円

(注) 期首元本額は3,172,050,068円、期中追加設定元本額は244,166,817円、期中一部解約元本額は811,255,912円、1口当たり純資産額は3,3267円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 2,182,889,550円
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 422,071,423円

○損益の状況 (2015年4月11日～2016年4月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	197,915,877
受取配当金	186,867,842
受取利息	57,687
その他収益金	11,033,167
支払利息	△ 42,819
(B) 有価証券売買損益	△1,057,061,386
売買益	760,176,294
売買損	△1,817,237,680
(C) 保管費用等	△ 7,877,522
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 867,023,031
(E) 前期繰越損益金	8,375,822,517
(F) 追加信託差損益金	634,633,183
(G) 解約差損益金	△2,082,544,088
(H) 計(D+E+F+G)	6,060,888,581
次期繰越損益金(H)	6,060,888,581

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>